

2020年6月25日

各位

当社電子線レジストが「半導体・オブ・ザ・イヤー2020」優秀賞を受賞

日本ゼオン株式会社

日本ゼオン株式会社（社長：田中公章）が開発した、次世代電子部品向けポジ型電子線レジストが、電子デバイス産業新聞主催の「半導体・オブ・ザ・イヤー2020」において、半導体電子材料部門で優秀賞を受賞しました。

「半導体・オブ・ザ・イヤー」は、電子デバイス産業新聞（発行元：産業タイムズ社）の主催により、IT産業を支える最先端の製品・技術を表彰し、半導体業界のさらなる発展に寄与することを目的として、1994年から毎年開催されています。

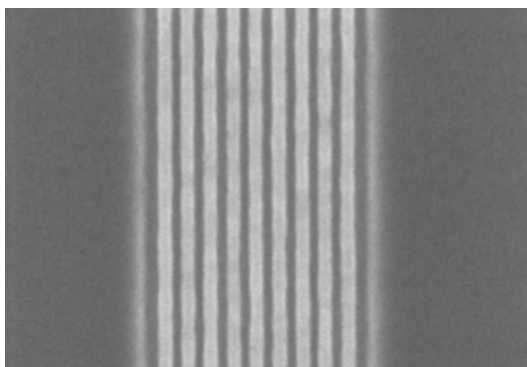
今回、受賞対象となった電子線レジスト「ZEP530A」は、従来品より優れた解像度に加え、ドライエッチング耐性や広いプロセスマージンを有しており、薄膜化により、ハーフピッチ(hp)17nmのレジストパターンの解像が確認されています。

日本ゼオンは、主鎖切断型のポジ型電子線レジスト^{*1}のZEPシリーズを国内外に展開していますが、次世代電子部品向けに開発され、昨年上市された本製品は、5G（第5世代移動通信システム）時代の本格的な到来を前に、既に量産が開始されており、お客様にご好評いただいています。

ゼオングループは今後も、独自で培った技術を更に発展させながら、新たな時代のニーズにお応えできるよう努めてまいります。

（なお、授賞式・表彰式は例年、JPCA Show《電子機器トータルソリューション展》会場内で開催されていますが、本年は新型コロナウイルスの感染拡大が懸念されることから、開催は中止となりました。）

走査型電子顕微鏡による上面観察写真
(hp 17nm L/S)



レジスト膜厚 40nm
描画装置 ELS-F150(株式会社エリオニクス)

【用語解説】

*1 主鎖切断型のポジ型電子線レジスト

電子線照射によりポリマーの主鎖がモノマー単位にまで分解するようにポリマー設計したポジ型電子線レジスト

以上

本件に関するお問い合わせ先

日本ゼオン株式会社 CSR 統括部門 広報室 電話：03-3216-2747